

浜の活力再生プラン
令和6～10年度
第3期

1 地域水産業再生委員会 (ID: 1130002)

組織名	香川県地域水産業再生委員会 東讃地区部会
代表者名	部会長 嶋野勝路 (庵治漁業協同組合 代表理事組合長)

再生委員会の 構成員	引田漁業協同組合、東讃漁業協同組合、津田町漁業協同組合、鴨庄漁業協同組合、さぬき市漁業協同組合、牟礼漁業協同組合、庵治漁業協同組合 東かがわ市、さぬき市、高松市 香川県、香川県漁業協同組合連合会
オブザーバー	—

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	[範囲] 香川県東部地域 (東かがわ市、さぬき市、高松市庵治町・牟礼町) [漁業の種類] 魚類養殖業 (31経営体)、ノリ養殖業 (18経営体)、カキ養殖業 (34経営体)、小型機船底びき網漁業 (141経営体)、定置網漁業 (1経営体)、船びき網漁業 (7経営体)、敷網漁業 (40経営体)、さわら流し さし網漁業 (25経営体)、建網漁業 (28経営体) 計325経営体 (令和4年度時点)
-----------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

東讃地域は、香川県の東部に位置し、播磨灘に面した比較的単調な磯と浜が混在する海岸線を有している。

漁業種類については、小型機船底びき網、定置網、船びき網などが主要な漁業として営まれているほか、ブリ類を中心とした魚類養殖業、ノリ養殖業及びカキ養殖業が漁業生産の中心となっている。

[漁船漁業]

域内には、県内で最も多い水揚量がある引田漁協や登録漁船数、水揚量ともに県下有数の規模を誇る庵治漁協があり、漁船漁業の盛んな地域である。しかし、近年の漁業コストの増大と漁獲量の低迷により、一部の漁業者を除いて漁船漁業のみで生計を立てるのは難しい状況であり、漁業経営体数は減少の一途をたどっている。

[養殖業]

東讃地域には、世界で初めてハマチ養殖に成功した安戸池があり、養殖業が盛んな地域となっている。域内では、県魚であるハマチをブランド化した『ひけた鯛』、『オリーブハマチ』、『オリーブぶり』や瀬戸内海の気候風土に合わせた飼育方法の確立により生まれた『オリーブマダイ』、『オリーブサーモン』などの養殖が行われている。しかし、近年の消費者の魚離れ

により、期待どおりの価格向上、出荷量増加につながっておらず、品質の高い県内産養殖魚の更なる知名度向上、消費拡大が急務となっている。また、養殖用餌飼料を中心とした漁業コストの増大により魚類養殖業の経営は非常に厳しい状況となっている。

ノリ養殖については、かつては香川県全体の生産額が 111 億円に達したこともあり、本県は国内でも有数なノリ生産地であったが、生産過剰により価格が急落し、経営体数は急激に減少した。それに加え、近年の海水温の上昇による漁期の短縮化、クロダイ等の魚類や鳥類による食害、冬季の栄養塩レベルの低下、漁業コストの上昇の課題がある。特に年明け以降の栄養塩レベルの低下による色落ちと販売単価の下落は深刻で、ノリ養殖業の経営は非常に厳しい状況となっている。

また、当地域は県下有数のカキ養殖地域であるとともに、新たにワカメやアオノリ養殖にも意欲的に取り組んでいる。

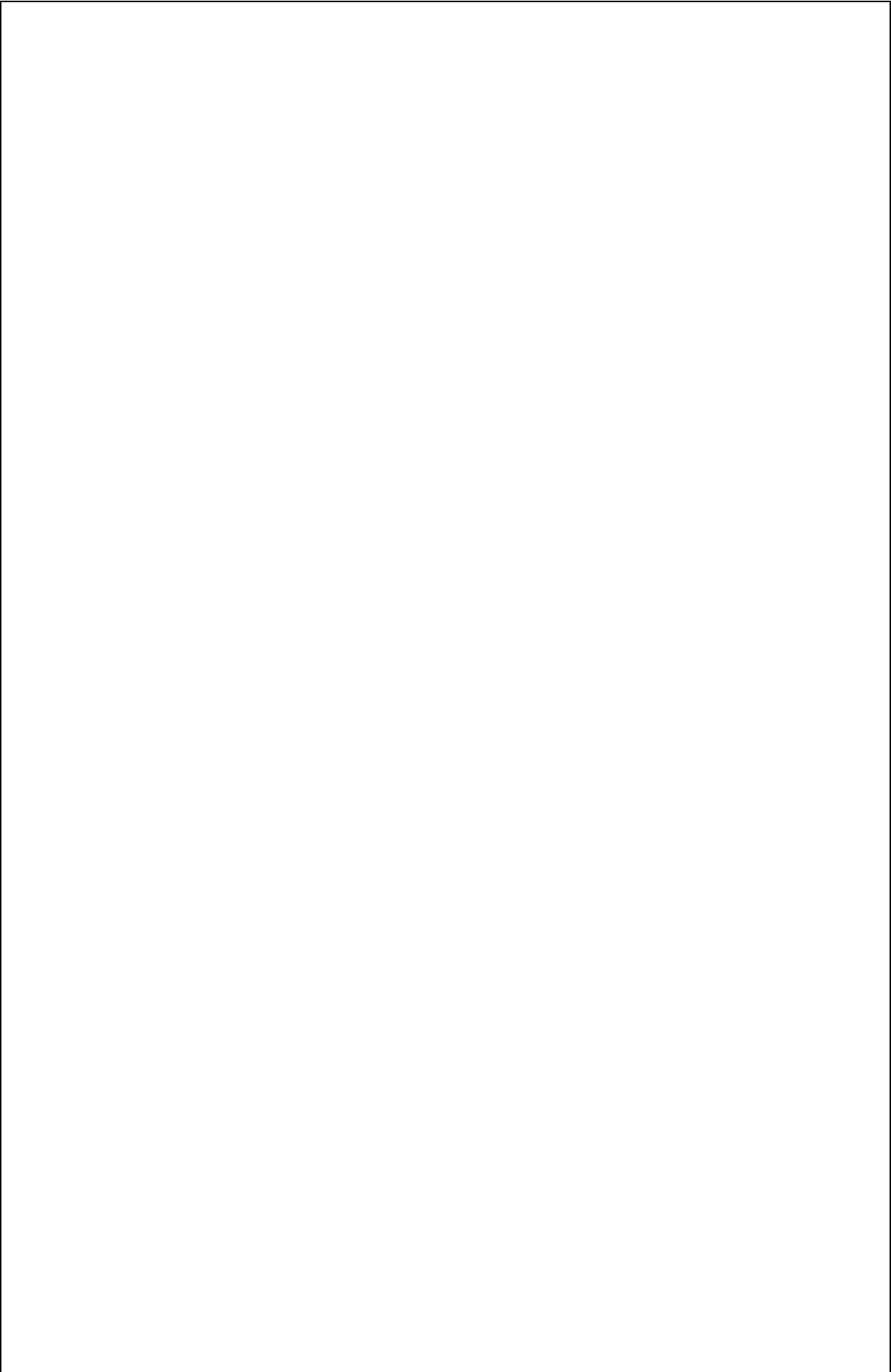
(2) その他の関連する現状等

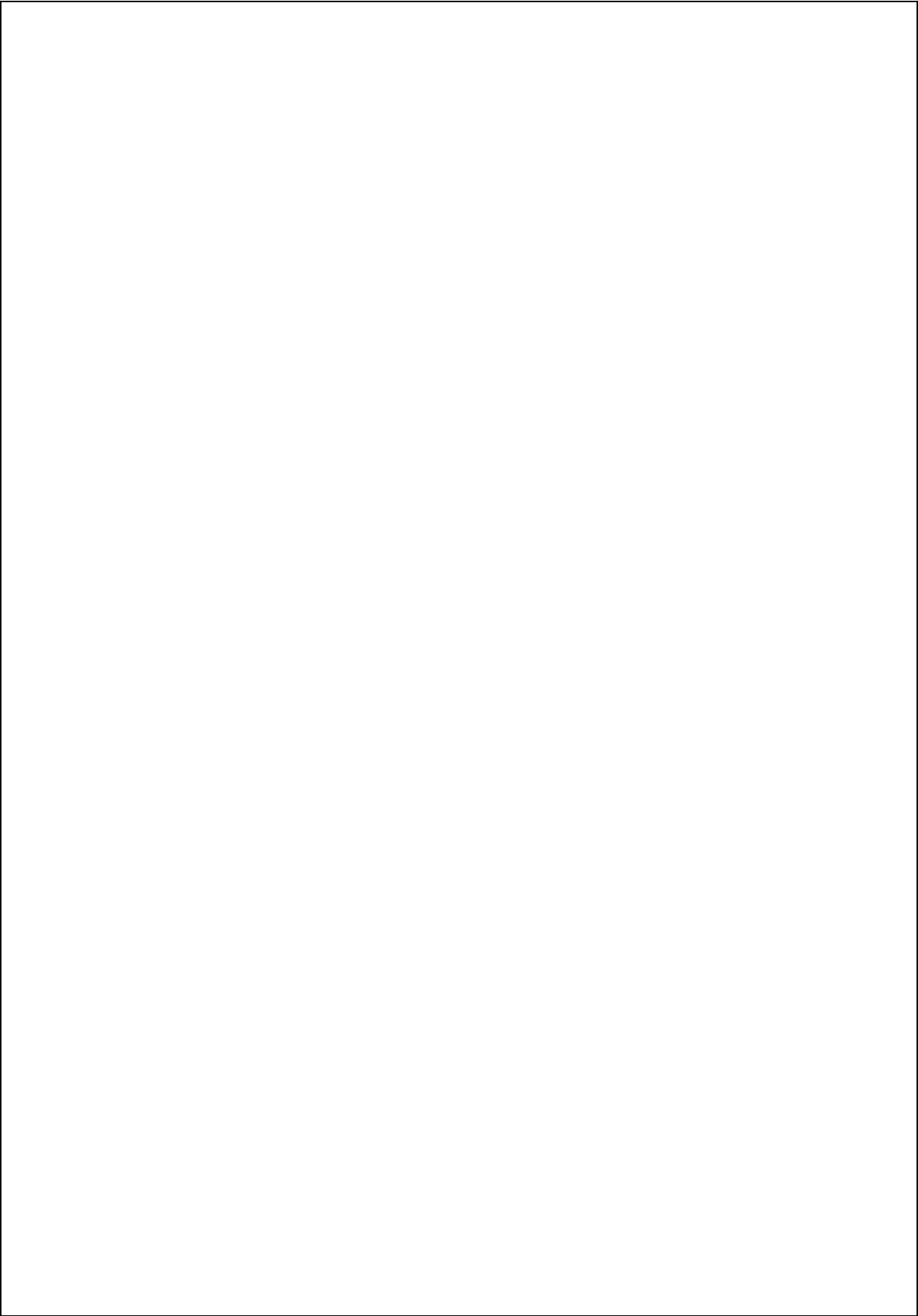
・東讃地域は香川の最東部の地域であり、神戸淡路鳴門道を経由した京阪神からのアクセスが良い地域となっている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--





(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

○漁業収入の向上

(第1～2期で取組効果があり、継続・拡大する取組)

・魚類養殖の振興

本地区養殖水産物の更なる消費拡大とブランド化を促進するため、水産関係団体と連携し、量販店や飲食店等への継続的な販売促進活動と消費者の知名度向上に努める。特に新たなブランド魚の「オリーブマダイ」「オリーブサーモン」はまだ認知度が低く、知名度向上に取り組む。

・ノリ養殖の振興

栄養塩低下等による色落ちや食害が増加傾向にあり、漁場条件に合わせた養殖技術の開発等に取り組むとともに、協業化について検討を進め、品質向上や生産の安定化と経営の効率化を促進する。

・収入の安定化

燃油の高騰、漁場資源の減少等漁業経営を取り巻く状況が悪化するとともに、漁業就業者の高齢化、漁業生産構造の脆弱化が進行しているため漁業共済、積み立てぶらす等の仕組みを活用し、収入の安定化に引き続き取り組む。

・浜の多面的機能発揮

漁業者等が行う水産業・漁村のもつ多面的機能発揮に資する活動や稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を通して、環境・生体系の維持・回復等に努め、漁村が有する多面的な機能の発揮に努める。

・漁港機能強化等の施設整備

地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながらクレーン設備等を導入し、漁業生産の省力化を図る。

(新規の取組)

・カキ養殖の振興

夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興するため、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして高付加価値化に努めるとともに、販路の拡大と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。

・新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進

海洋環境や水産資源量の変化に対応し、新たな魚種を獲ることで漁業収入の向上を図るために、新たな魚種に対応した漁網等の導入の促進を図る。

○漁業コストの削減

(第1～2期で取組効果があり、継続・拡大する取組)

・省燃油対策の継続

燃料費の削減を図るため、減速航走や船底清掃等の省燃油操業を継続的に取り組むよう努める。

- ・魚類養殖業給餌コストの削減

魚類養殖業における経費で大きなウェートを占める給餌コストを削減するため、魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入するように努める。また、漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業（配合飼料）への加入を推進する。

- ・養殖カキ殻の活用

カキ殻処分コストの軽減を図るため、カキ養殖経営体は、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行い、試験研究と本格的な導入を目指す。

（新規の取組）

- ・魚箱の共同購入による仕入れコストの削減

ALPS 処理水海洋放出の影響を乗り越えるための漁業者支援事業の一環として、持続的な漁家経営を図るために、魚箱の共同購入により、仕入れコストを削減し、資材費等のコスト削減を促進する。

- ・省エネ機器（漁船用エンジン・冷凍機等）の導入促進

燃料費や光熱費の削減を図るため、省エネ機器（漁船用エンジン・冷凍機等）の導入を促進し、光熱費等のコスト削減を促進する。

○漁村活性化の取組

- ・漁業担い手確保

漁業の経験や知識のない者であっても、安心して漁業就業できるような体制づくりのために、就労サポート制度の情報提供等に努め、新規就業者の増加が図られるように努める。

- ・その他の取組

水産物の PR 活動、浜の多面的機能発揮に資する活動等を通して、浜に関心を持ってもらう機会を創出し、漁村活性化に努める。

（３）資源管理にかかる取組

香川県資源管理方針に沿って各漁業協同組合が定めた資源管理協定に基づき、漁獲努力量の削減に努めたうえで資源管理目標を設定し、その履行については香川県資源管理協議会が確認を行う。また、協定の有効性について、香川県資源管理協議会が評価・検証するとともに、認定した協定について、県水産課ＨＰにて公表する。

（４）具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

１年目（令和６年度）所得向上率（基準年比）8.31%

取組の内容は、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上のための取組	○魚類養殖の振興 ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水
--------------	---

	産物への消費拡大を促す。 ・魚類養殖経営体は、香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えて生産する「オリーブハマチ」について、徹底した生産管理により、一層の品質向上、安全性の向上及び安定生産に努める。また、新たなブランド魚である『オリーブマダイ』『オリーブサーモン』について、水産関係団体と連携し、量販店や飲食店等への継続的な販売促進活動により知名度向上に取り組む。 ○ノリ養殖の振興 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、漁協等と連携し、海底耕うん等の漁場管理や色落ち対策に取り組み、品質の向上による生産額の増加を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定、増大のため、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 ・漁業者は比較的設備投資が少なく新規での参入が容易なアオノリ養殖について、県水試、県漁連と協力して県内での採苗による種網確保に取り組むとともに、安定生産と単価向上に取り組む。 ○カキ養殖の振興 ・漁業者は、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖試験を実施し、新規漁業としての可能性を検証する。出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。 ○収入の安定化 ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 ○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進 ・水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。 ○漁港機能強化等の施設整備 ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	○省燃油対策の継続 ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。

	・地区内の漁業者は、競争力の高い機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○魚類養殖業給餌コストの削減 ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業（配合飼料）への加入を推進する。 ○養殖カキ殻の活用 ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。 ○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減 ・漁業者は、鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 ○省エネ機器の導入促進 ・漁業者には付属漁船用エンジンによる 10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村活性化のための取組	○漁業担い手確保 ・県水産課は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。 ○その他の取組 ・漁協及び漁業者は、ブリ等の養殖魚やマガキなどの水産物の PR 活動を行うとともに、海底耕耘や海浜清掃などの浜の多面的機能發揮に資する活動等を通して、一般市民に浜に関心を持ってもらう機会を創出する。
活用する支援措置等	・経営体人材育成総合支援事業〔国〕 ・漁業経営セーフティネット構築事業〔国〕 ・浜の活力再生交付金〔国〕 ・水産多面的機能發揮対策事業〔国〕 ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業〔国〕 ・魚類養殖生産安定対策事業〔県〕 ・ノリ養殖等振興総合対策事業〔県〕 ・県産ノリ品質向上・生産安定化事業〔県〕 ・香川県水産振興総合対策事業〔県〕

2 年目（令和 7 年度）所得向上率（基準年比）8.91%

漁業収入向上のための取組	○魚類養殖の振興 ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優
--------------	---

	れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・魚類養殖経営体は、香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えて生産する「オリーブハマチ」について、徹底した生産管理により、一層の品質向上、安全性の向上及び安定生産に務める。また、新たなブランド魚である『オリーブマダイ』『オリーブサーモン』について、水産関係団体と連携し、量販店や飲食店等への継続的な販売促進活動により知名度向上に取り組む。 ○ノリ養殖の振興 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、漁協等と連携し、海底耕うん等の漁場管理や色落ち対策に取り組み、品質の向上による生産額の増加を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定、増大のため、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 ・漁業者は比較的設備投資が少なく新規での参入が容易なアオノリ養殖について、県水試、県漁連と協力して県内での採苗による種網確保に取り組むとともに、安定生産と単価向上に取り組む。 ○カキ養殖の振興 ・前年度に実施した養殖試験の結果を基に、本格的に三倍体のカキ養殖を開始する。従来と異なり夏季でも出荷できことから、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。 ○イベントを活用した販売促進 ・令和 7 年に開催される「瀬戸内国際芸術祭」より東讃地区も新たに会場となる見込みで、国内外から多くの観光客が訪れることが期待できることから、情報発信力の高いメディア関係者の協力を得ながら、食材提供やメニュー開発等により、地元水産物の PR を促進する。 ○収入の安定化 ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 ○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進 ・水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を
--	--

	促進する。 ○漁港機能強化等の施設整備 ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	○省燃油対策の継続 ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・地区内の漁業者は、競争力の高い機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○魚類養殖業給餌コストの削減 ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業（配合飼料）への加入を推進する。 ○養殖カキ殻の活用 ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。 ○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減 ・漁業者は、鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 ○省エネ機器の導入促進 ・漁業者には付属漁船用エンジンによる 10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村活性化のための取組	○漁業担い手確保 ・県水産課は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。 ○その他の取組 ・漁協及び漁業者は、ブリ等の養殖魚やマガキなどの水産物の PR 活動を行うとともに、海底耕耘や海浜清掃などの浜の多面的機能発揮に資する活動等を通して、一般市民に浜に関心を持ってもらう機会を創出する。
活用する支援措置等	・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県]

	・県産ノリ品質向上・生産安定化事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]
--	---

3 年目（令和 8 年度）所得向上率（基準年比）9.51%

漁業収入向上のための取組	○魚類養殖の振興 ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・魚類養殖経営体は、香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えて生産する「オリーブハマチ」について、徹底した生産管理により、一層の品質向上、安全性の向上及び安定生産に務める。また、新たなブランド魚である『オリーブマダイ』『オリーブサーモン』について、水産関係団体と連携し、量販店や飲食店等への継続的な販売促進活動により知名度向上に取り組む。 ○ノリ養殖の振興 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、漁協等と連携し、海底耕うん等の漁場管理や色落ち対策に取り組み、品質の向上による生産額の増加を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定、増大のため、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 ・漁業者は比較的設備投資が少なく新規での参入が容易なアオノリ養殖について、県水試、県漁連と協力して県内での採苗による種網確保に取り組むとともに、安定生産と単価向上に取り組む。 ○カキ養殖の振興 ・引続き、三倍体のカキ養殖を実施し、養殖技術の向上に努めるとともに、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。 ○収入の安定化 ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 ○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進 ・水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を
--------------	--

	促進する。 ○漁港機能強化等の施設整備 ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	○省燃油対策の継続 ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・地区内の漁業者は、競争力の高い機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○魚類養殖業給餌コストの削減 ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業（配合飼料）への加入を推進する。 ○養殖カキ殻の活用 ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。 ○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減 ・漁業者は、鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 ○省エネ機器の導入促進 ・漁業者には付属漁船用エンジンによる 10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村活性化のための取組	○漁業担い手確保 ・県水産課は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。 ○その他の取組 ・漁協及び漁業者は、ブリ等の養殖魚やマガキなどの水産物の PR 活動を行うとともに、海底耕耘や海浜清掃などの浜の多面的機能発揮に資する活動等を通して、一般市民に浜に関心を持ってもらう機会を創出する。
活用する支援措置等	・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県]

	・県産ノリ品質向上・生産安定化事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]
--	---

4 年目（令和 9 年度）所得向上率（基準年比）10.11%

漁業収入向上のための取組	○魚類養殖の振興 ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・魚類養殖経営体は、香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えて生産する「オリーブハマチ」について、徹底した生産管理により、一層の品質向上、安全性の向上及び安定生産に務める。また、新たなブランド魚である『オリーブマダイ』『オリーブサーモン』について、水産関係団体と連携し、量販店や飲食店等への継続的な販売促進活動により知名度向上に取り組む。 ○ノリ養殖の振興 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、漁協等と連携し、海底耕うん等の漁場管理や色落ち対策に取り組み、品質の向上による生産額の増加を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定、増大のため、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 ・漁業者は比較的設備投資が少なく新規での参入が容易なアオノリ養殖について、県水試、県漁連と協力して県内での採苗による種網確保に取り組むとともに、安定生産と単価向上に取り組む。 ○カキ養殖の振興 ・引続き、三倍体のカキ養殖を実施し、養殖技術の向上に努めるとともに、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。 ○収入の安定化 ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 ○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進 ・水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を
--------------	--

	促進する。 ○漁港機能強化等の施設整備 ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	○省燃油対策の継続 ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・地区内の漁業者は、競争力の高い機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○魚類養殖業給餌コストの削減 ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業（配合飼料）への加入を推進する。 ○養殖カキ殻の活用 ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。 ○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減 ・漁業者は、鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 ○省エネ機器の導入促進 ・漁業者には付属漁船用エンジンによる 10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村活性化のための取組	○漁業担い手確保 ・県水産課は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。 ○その他の取組 ・漁協及び漁業者は、ブリ等の養殖魚やマガキなどの水産物の PR 活動を行うとともに、海底耕耘や海浜清掃などの浜の多面的機能発揮に資する活動等を通して、一般市民に浜に関心を持ってもらう機会を創出する。
活用する支援措置等	・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県]

	・県産ノリ品質向上・生産安定化事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]
--	---

5 年目（令和 10 年度）所得向上率（基準年比）10.71%

取組の最終年であり、以下の取組を引き続き行うが、目標達成を確実なものとするよう、プランの取組の成果を検証し必要な見直しを行う。

漁業収入向上のための取組	漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より 2.3%増加） ○魚類養殖の振興 ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・魚類養殖経営体は、香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えて生産する「オリーブハマチ」について、徹底した生産管理により、一層の品質向上、安全性の向上及び安定生産に務める。また、新たなブランド魚である『オリーブマダイ』『オリーブサーモン』について、水産関係団体と連携し、量販店や飲食店等への継続的な販売促進活動により知名度向上に取り組む。 ○ノリ養殖の振興 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、漁協等と連携し、海底耕うん等の漁場管理や色落ち対策に取り組み、品質の向上による生産額の増加を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定、増大のため、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 ・漁業者は比較的設備投資が少なく新規での参入が容易なアオノリ養殖について、県水試、県漁連と協力して県内での採苗による種網確保に取り組むとともに、安定生産と単価向上に取り組む。 ○カキ養殖の振興 ・引続き、三倍体のカキ養殖を実施し、養殖技術の向上に努めるとともに、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。 漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より 1.0%増加） ○イベントを活用した販売促進 ・令和 10 年に開催される「瀬戸内国際芸術祭」では、引き続き東讃地区も会場となる見込みで、国内外から多くの観光客が訪れることが期待できることから、情報発信力の高いメディア関係者の協力を得ながら、食材提供やメニュー開発等により、地元水産物の PR を促進する。 ○収入の安定化 ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮
--------------	--

	・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 ○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進 ・水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。 ○漁港機能強化等の施設整備 ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	○省燃油対策の継続 ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・地区内の漁業者は、競争力の高い機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○魚類養殖業給餌コストの削減 ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業（配合飼料）への加入を推進する。 ○養殖カキ殻の活用 ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。 ○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減 ・漁業者は、鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 ○省エネ機器の導入促進 ・漁業者には付属漁船用エンジンによる10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村活性化のための取組	○漁業担い手確保 ・県水産課は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。 ○その他の取組 ・漁協及び漁業者は、ブリ等の養殖魚やマガキなどの水産物のPR活動を行うとともに、海底耕耘や海浜清掃などの浜の多面的機能発揮に資する

	活動等を通して、一般市民に浜に関心を持ってもらう機会を創出する。
活用する支援措置等	・経営体人材育成総合支援事業〔国〕 ・漁業経営セーフティネット構築事業〔国〕 ・浜の活力再生交付金〔国〕 ・水産多面的機能発揮対策事業〔国〕 ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業〔国〕 ・魚類養殖生産安定対策事業〔県〕 ・ノリ養殖等振興総合対策事業〔県〕 ・県産ノリ品質向上・生産安定化事業〔県〕 ・香川県水産振興総合対策事業〔県〕

(5) 関係機関との連携

○香川県水産試験場との連携

- ・水産試験場が行う資源管理に関する調査の結果を基に、効率的な資源管理に努める。
- ・当地域での水質等に適した養殖技術について研究を共同で行う。

○他地域との連携

- ・他地域の漁業協同組合とも連携し、運送の共同運行などにより流通コストの削減を目指す。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の成果を評価・分析するため、年に1回達成状況について、委員会事務局内で、自己評価案の作成を行い、地区部会の中で自己評価案について、構成員に審議・決定いただき、次年度の取組の改善等につなげる。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

クロノリ 1 冊当たりの生産枚数の増加	基準年	平成 30～令和 4 年度 5 ヶ年平均 3,020 枚/冊
	目標年	令和 6～10 年度 5 ヶ年平均 3,065 枚/冊
新規漁業就業者数の増加	基準年	平成 30～令和 4 年度 5 ヶ年平均 新規漁業就業者数 7.8 人/年
	目標年	令和 6～10 年度 5 ヶ年平均 新規漁業就業者数 8.6 人/年

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

○漁業所得向上のサブ指標として、地区の主力養殖業であるノリ養殖において、食害対策を講じることで、ノリの安定生産・生産量の増大を図るために、クロノリ 1 冊当たりの生産枚数を指標とした。基準年の算出方法は、ノリ共販結果（平成 30 年～令和 4 年）で得た、地区毎の生産枚数と冊数を元に過去 5 年間に於ける 1 冊当たりのクロノリ 1 冊当たりの生産枚数の平均値（3,020 枚/冊）とした。

○目標年の設定は、浜の活力再生プランのノリの色落ち・食害対策の海底耕うんや防除網等の取組を実施することにより、下記のとおり、地区内のクロノリ 1 冊当たりの生産枚数の年間向上率 0.5%を設定し、プラン期間内平均値を基準より 5 %向上させ、経営体数が減少している中で、品質の良いノリを生産し現状維持を目指す。

基準年：H30～R4 年度地区内クロノリ 1 冊当たりの生産枚数の平均値（3,020 枚/冊）

地区内クロノリ 1 冊当たりの生産枚数、向上割合

	枚数/冊	対基準年向上率 (%)
1 年目 (6 年度)	3,035	0.5
2 年目 (7 年度)	3,050	1.0
3 年目 (8 年度)	3,065	1.5
4 年目 (9 年度)	3,081	2.0
5 年目 (10 年度)	3,096	2.5
5 ヶ年平均	3,065	1.5

○漁村活性化の成果指標として、当地区における新規就業者数を指標とした。過去の新規漁業就業者数は、平成 30 年度：5 人、令和元年度：5 人、令和 2 年度：9 人、令和 3 年度：8 人、令和 4 年度：12 人（5 年累計 39 人）となっている。香川漁業塾といった就労サポート制度促進等を通して、新規就業者を増やすことで、毎年度 5 人以上の新規就業者の増員（累計 43 人）を図ることを目指す。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
・経営体人材育成総合支援事業 〔国〕	意欲のある新規漁業就業者の安定的な確保・定着を図るため、漁業の将来を担う人材を育成支援し、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。
・漁業経営セーフティネット構築事業 〔国〕	燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・水産多面的機能発揮対策事業 〔国〕	沿岸域の環境美化、藻場・干潟の保全、海難救助など、浜の持つ多面的機能を発揮する活動を実施することにより、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。
・浜の活力再生交付金（水産関係地方公共団体交付金等実施要領に係るもの）〔国〕	水産資源の持続的な利用・管理の推進、水産業経営の強化及び漁港機能の強化等を図ることにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業〔国〕	長期にわたる ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるため、海浜清掃、省燃油活動、魚箱の共同購入、省エネ機器の導入等、漁業者の創意工夫による取組みを行うことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の支出の削減に寄与する。
・香川県水産振興総合対策事業〔県〕	水産物の販売促進、食育活動等に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・魚類養殖生産安定対策事業〔県〕	養殖用餌料として従来活用されていない未利用魚を有効活用し、生餌を低価格で安定供給することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・ノリ養殖等振興総合対策事業〔県〕 ・県産ノリ品質向上・生産安定化事業〔県〕	ノリの色落ち・食害対策等による生産安定化や新たな藻類養殖の普及に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。